

多文化キッズサロンって どんなところ？

多文化キッズサロンは市の委託により、NPO法人西東京市多文化共生センター(NIMIC)が運営しています。「西東京市在住 または在学の日本語を母語としない子ども」とその保護者が安心して立ち寄ることができる地域の居場所です。ひばりが丘中学校を多文化キッズサロンの拠点とし、市内3小学校にサテライトサロンを設置しています。

多文化キッズサロンには3つの機能があります。日本語や教科の学習、悩みや困りごとの相談、地域の人や同じ境遇の仲間との交流です。

多文化キッズサロンに集まるみんなが、多くの人とつながりながら自分らしく暮らしていくよう地域で一体的な支援を行うことを目的としています。

これまでのあゆみ

2007年、西東京市とNIMICの共催で開催した「日本語を母語としない子どもへの学習支援ボランティア養成講座」の受講生を中心となり、「NIMIC子ども日本語教室」がスタートしました。

2024年4月から西東京市の事業として新たに、「多文化キッズサロン」として生まれ変わり、NIMICが運営しています。

外国につながる子どもたちが、生活言語・学習言語を習得し、学校生活に適応していくよう、日本語指導をおこなっています。

多文化キッズサロン (子ども日本語教室の場所)



相談は西東京市多文化共生センターでも受け付けます。まずは下記までご連絡ください。



〒188-0012
西東京市南町5-6-18 イングビル1階

☎ 042-461-0381

✉ info@nimic.jp

西東京市

多文化キッズサロン



西東京市
生活文化スポーツ部文化振興課

西東京市
教育部教育指導課



詳細はこちらから

運営・問い合わせ先（発行元）

NPO法人 西東京市多文化共生センター
(NIMIC)

学習

日本語の学習
学校の授業の復習や宿題のサポート
高校受験対策の支援、長期休暇時の補習
日本の慣習や文化の学び

※学習は各サロン開室から30分後に開始します

多文化キッズサロン

子ども日本語教室中学部が
設置されています。

ひばりが丘中学校 中学部
毎週木曜日 17:00～19:30



サテライトサロン

市内の3つの小学校に、子ども日本語教室小学部が
設置されています。

保谷第一小学校 保一教室
毎週火曜日 15:00～17:30



谷戸小学校 谷戸教室
毎週水曜日 14:45～17:15



向台小学校 向台教室
毎週木曜日 15:00～17:30

子ども日本語教室では、日本語を母語としない小学生・中学生が勉強をしています。

日本語による会話能力がある程度あっても、教科を理解するための日本語能力は充分ではないために、学習態度が悪いと誤解されるケースもあるようです。言葉での細かいニュアンスが伝えられなかつたり、理解できなかつたりして友達とのトラブルが起きてしまうこともあります。そんな子どもたちが日本語を習得し、充実した学校生活を過ごせるようにサポートをしています。

相談

日本語が母語ではないお子さん
保護者のみなさん
困っていることはありませんか？

支援経験・知識が豊富な多文化キッズサロン
コーディネーターやスタッフに相談ができます。
必要に応じて関係機関と連携・調整をし、
困りごとの解決に向けてサポートします。



※学校関係者の方、その他の機関からの相談も受け付けています。

交流

日本語を母語としない子ども同士の交流
先輩や地域との交流
夏休みや春休みの遠足など

多文化キッズサロンでは季節に合わせたイベントをおこなっています。毎週の日本語教室での学習では、あまり話す機会のない児童や生徒同士が、お互いを知り仲良くなるきっかけにもなります。

Youth Club(16～24歳のNIMICのボランティア)のお兄さんやお姉さんがお楽しみ会に来てくれて、企画してくれたゲームと一緒に楽しむこともあります。

3月には、小学部に所属する6年生の児童が中学校生活に早く慣れができるよう、中学部で交流会を行います。小学部と中学部のつながりも大切にしています。

夏休みや春休みには立川防災館、小金井公園、多摩六都科学館、上野の博物館や美術館などへみんなで見学に行きます。



お楽しみ会（谷戸教室）



修了式・お別れ会（向台教室）



交流会（小学部&中学部）



多摩六都科学館見学（中学部）